

山梨の

鳥獣被害

山梨県は、世界文化遺産富士山や南アルプス

など日本を代表する山々に囲まれ、恵まれた自然と豊かな水にあふれています。

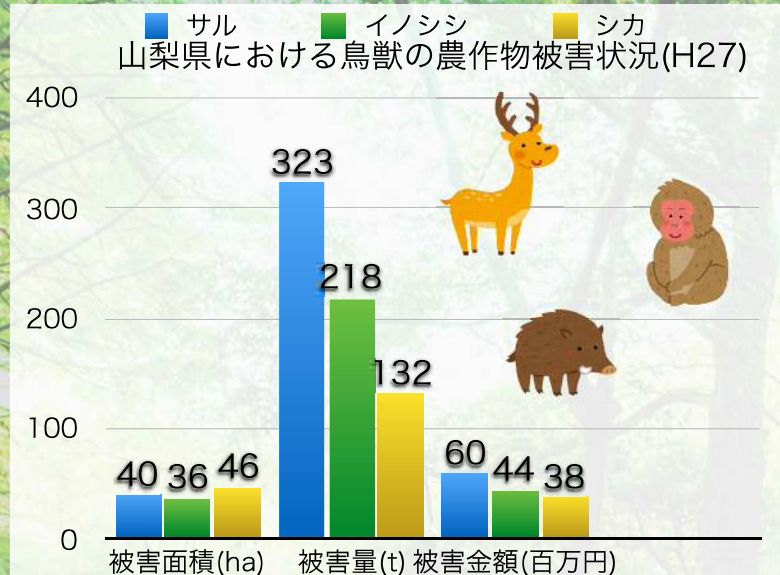
産業では、変化に富んだ自然条件を生かしながら技術の確立により、果樹、野菜、水稲、花きなど特色ある産地を形成しています。

中でも果樹は、農業生産額の5割以上を占め、ぶどう、もも、すももは全国一の生産量を誇っています。

鳥獣による被害の様子

山梨県では、鳥獣による農作物等への被害が増加していることが問題となっています。

農作物に被害を与えているのは、イノシシ、サル、シカ、ツキノワグマ、ハクビシンなどです。また、鳥類では、カラスやムクドリによる被害も報告されています。



野生動物との 共存の地域づくり



現状は、なかなかすぐに改善することは難しいが、これからも被害軽減を目指し地域で取り組みを行なっていきます。

鳥獣による被害を防ぐには

山梨県では、各市町村で鳥獣被害防止計画を定め、被害防止の取り組みを行なっています。

野生動物による農作物の被害を防ぐには、様々な方法で農地付近を利用しにくい環境にすることです。

被害対策の基本は、

1. 取り残し作物、ゴミの処理
2. 電気柵・網などで農地を囲う
3. 遊林農地の管理
4. 追い払い、見張り